

令和元年度

# 福島町議会

## 定例会 2 月会議会議録

令和 2 年 2 月 2 1 日 開会

令和 2 年 2 月 2 1 日 休会

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上、原稿校正は初校よりできなく、誤字、脱字がありましたら、深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

# 目 次

令和2年2月21日（金曜日）第1号

○議 事 日 程 .....	1 頁
○会議に付した事件 .....	1 頁
○出 席 議 員 .....	1 頁
○欠 席 議 員 .....	1 頁
○出 席 説 明 員 .....	1 頁
○職務のため議場に参加した議会事務局職員 .....	1 頁
○開会・開議宣告 .....	3 頁
○町長あいさつ .....	3 頁
○日程第1 会議録署名議員の指名 .....	3 頁
○日程第2 諸般の報告 .....	4 頁
○日程第3 行政報告 .....	7 頁
1 除雪業者への緊急対応について	
2 株式会社ヤマザキとの事業協議について	
3 消費税改定に関連した使用料等について	
〔各課所管事項について〕	
(1) 産業課の所管事項について	
教育行政報告 .....	8 頁
1 幼児教育、学校教育について	
(1) 学校給食について	
(2) 高等学校について	
(3) 特別支援教育について	
2 地域間交流について	
(1) 友好市町との交流	
(2) 東京都墨田区への児童派遣	
○日程第4 議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号） （提案説明・質疑・意見交換・討議・討論・起立採決） .....	9 頁
○休 会 の 議 決 .....	14 頁
○休 会 宣 告 .....	15 頁

## 提出案件及び議決結果表

議案番号	件名	議決月日	議決結果
48	令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）	2月21日	原案可決

## 令和元年度

# 福島町議会定例会 2月会議

令和2年2月21日（金曜日）第1号

### ◎議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 諸般の報告  
日程第3 行政報告  
日程第4 議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）

### ◎会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 諸般の報告  
日程第3 行政報告  
日程第4 議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）

### ◎出席議員（10名）

議長	10番	溝部 幸基	副議長	9番	平野 隆雄
	1番	花田 勇		2番	佐藤 孝男
	3番	平沼 昌平		4番	木村 隆
	5番	川村 明雄		6番	杉村 志朗
	7番	藤山 大		8番	小鹿 昭義

### ◎欠席議員（0名）

### ◎出席説明員

町長	鳴海 清春	副町長	工藤 泰
総務課長	小鹿 一彦	企画課長	住吉 英之
産業課長	川合 力哉	町民課長兼吉岡支所長	鎌田 一志
建設課長	紙谷 一	認定こども園福島保育所園長	(鎌田 一志)
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター所長	石岡 大志
監査委員	本庄屋 誠		

### ◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

議会事務局長	阿部 憲一	議会事務局議事係長	福井 理央
議会事務局主査	中島 和俊	議会事務局書記	平野 文子



(開会 9時58分)

---

## ◎開 会 ・ 開 議 宣 告

---

### ○議長（溝部幸基）

おはようございます。

ただいまから令和元年度福島町議会定例会2月会議を開会いたします。

---

## ◎町 長 あ い さ つ

---

### ○議長（溝部幸基）

日程に入る前に、申し出がありますので、町長の挨拶を行います。

鳴海清春町長。

### ○町長（鳴海清春）

改めまして、おはようございます。

定例会2月会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、定例会2月会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

年明けから雪も少なく穏やかな日々が続いてございますけれども、新型コロナウイルス感染症が日本においても拡大しており、道内においても感染が広がりを見せております。また、昨日は道南七飯町においても新たな感染者が発生しているような状況でございます。2月19日付けの総務大臣メールにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み強化に関して通知がありましたので、町では臨時管理職会議を招集し、新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安など、また、手洗い・うがいの励行など、町民へ周知徹底することとしてございます。

さて、昨年の12月から2月にかけて地球温暖化の影響と思われる暖冬が続き、過去に例のないような降雪量の少なさとなっております。2月5日に地元除雪業者から財政支援の要請をいただき、町では緊急対策として、町内会要望や積み残し事業を前倒しする形で除雪業者支援事業を実施することといたしましたので、ご理解をお願いするものでございます。

そのようなことで、本日の案件につきましては、令和元年度の一般会計補正予算が1件となっております。補正の主なものとして、ただいま申し上げましたように、除雪業者支援事業として、農業維持管理費や道路維持費の増額となっております。なお、財源につきましては、既存の除排雪業務委託料を減額して充当することとしてございます。

最後に1点、報告をさせていただきたいと思っております。

本年1月に長引くイカの不漁など、大変厳しい経営環境にある水産加工業の団体から、従来行っております、福島町産業振興貸付資金預託金額の増額要請をいただき、指定金融機関などと鋭意協議をした結果として、町として、令和2年度予算において、増額と併せて厳しい環境状況を踏まえて、新たに条例の一部を改正して、利子補給に関する予算を定例会3月会議へ提案すべく事務作業を進めておりますので、この点についても予めご理解をいただきたいという風に思っております。

以上を持ちまして、簡単ではありますが、開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

なお、議案につきましては、担当課長から説明をいたしますので、ご審議のうえ議決くださるよう、よろしくお祈りを申し上げます。

### ○議長（溝部幸基）

鳴海清春町長の挨拶を終わります。

---

## ◎会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

---

### ○議長（溝部幸基）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

9番平野隆雄副議長、1番花田勇議員を指名いたします。

---

## ◎諸 般 の 報 告

---

### ○議長（溝部幸基）

日程第2 諸般の報告を行います。  
議会運営委員会の報告を行います。  
3番平沼昌平議会運営委員長。

### ○3番（平沼昌平）

令和元年度定例会2月会議の開会に際し、本日開催いたしました議会運営委員会の協議結果について、報告いたします。

まず、議事日程につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

次に、2月会議の審議日数については、本日1日を予定いたしましたので、議事運営にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

これで報告を終わります。

### ○議長（溝部幸基）

議会運営委員会の報告を終わります。

本定例会2月会議の議事は、ただいま平沼昌平議会運営委員長から報告がありましたように進めてまいります。

また、諸般の報告も既に印刷のうえ、皆様のお手元に配付のとおりでございますので、ご了承願います。

次に、常任委員会の所管事務調査結果について、報告を行います。

5番川村明雄総務教育常任委員長。

### ○5番（川村明雄）

諸般の報告の5ページをお開きください。

調査事件10及び調査事件11の所管事務調査は、去る2月12日に実施されました。

6ページでございます。

説明は、主な内容といたしますので、ご了解ください。

調査事件10 福島町地域防災計画の見直しについてでございますが、現在の福島町地域防災計画は、平成27年に改訂したのですが、近年の集中豪雨による災害対策や地震による津波対策について、見直し・充実が求められている中、新たに津波浸水水位等のデータを反映させ、また、国の防災基本計画と北海道地域防災計画との整合性を図った福島町地域防災計画（改訂案）が示されましたので、その内容を調査いたしました。

論点とした調査項目及び意見でございます。

1、地域防災計画運用に係る注意点等については、記載のとおり、5項目の意見を付しておりますけれども、その中から3項目について説明いたします。

1点目、（1）海岸線等の住民避難・高齢者対策について。

福島町は災害の少ない町と思われる傾向にありますが、近年の全国各地で発生している災害を教訓に、災害に対する住民意識の向上に係る啓発と、海岸線や河川周辺の住民の避難の在り方について、さらに検討していただきたい。

（2）避難訓練時の消防団員の参加要請について。

避難訓練については、より効果が出るよう目的を明確にし、町内会組織とともに、地域の消防防災活動に重要な役割を担う消防団等関係機関との連携を密にし、実行されるよう検討いただきたい。

（3）河川の堆積土砂浚渫について。

現在、福島川で堆積土砂の浚渫を実施しているが、局地的な集中豪雨被害が多発している状況に備え、町内小河川における土砂浚渫工事を早急に実施されることを強く望みます。

次に、7ページをお願いします。

調査事件11 第2次福島町人口ビジョン総合戦略の策定について。

現在の福島町人口ビジョン・総合戦略は、当町の人口動態と人口推計に基づき、急激に進む人口減少の速度を抑制し、一定の人口規模を維持することを目的に策定した計画です。



この度、令和2年度から6年度までの計画期間とした第2期福島町人口ビジョン・総合戦略（案）が示されましたので、その内容を調査いたしました。

論点とした調査項目・意見であります。

1、現行の人口ビジョンと次期ビジョンの推計人口について。

人口ビジョンは、2040年（令和22年）の人口を推計したのですが、現行の人口ビジョンは平成22年国勢調査人口に基づき推計したもので、国立社会保障・人口問題研究所の推計では1,997人、当町の推計は各種施策の実施を想定し2,225人となっております。次期人口ビジョンについては、平成27年国勢調査人口に基づき推計しておりますが、社人研推計では1,682人、当町推計では1,741人となっております。

町の推計では、現行推計と第2期計画との人口差が484人と大きく相違しており、合計特殊出生率を国と同様の率（1.60）とするなど、全体的に精度に欠けていた点を指摘いたします。

2、第2期総合戦略最終年（令和6年度）の福島町の目指すべき姿についてであります。

第2期計画では、令和6年度の計画最終年の人口目標を3,200人としておりますけれども、人口ビジョンでは国勢調査年毎の5年刻みの推計資料となっており、計画最終年となる令和6年度の各調査項目の数値が確認できず、第2期計画が目指す令和6年度の具体的な姿が見えないと思慮します。このことから、整合性を図り調整されますよう検討願いたいものであります。

3、総括的意見です。

福島町の状況につきましては、現行の総合戦略に基づき、各種施策を展開したことにより、人口減少の速度は鈍化したと、議会としても一定の評価をしておりますが、過疎少子高齢化が進行する地方自治体を取り巻く環境は、さらに厳しさを増す状況にあり、第2期福島町人口ビジョン・総合戦略の実施にあつては、現況をしっかりと精査・検証し、今後とも「持続していく福島町」を目指し、若者定住の基本的課題となっております「雇用の場の創出」等、効果のある各種施策の実施、展開を強く望みます。

以上で、調査事件10及び調査事件11の報告を終わります。

#### ○議長（溝部幸基）

次に、2番佐藤孝男経済福祉常任委員長。

#### ○2番（佐藤孝男）

諸般の報告の8ページをお願いいたします。

調査事件9の所管事務調査は、1月28日に実施しました。

説明は、主な内容としますので、ご了承ください。

調査事件9 がんばる地元企業等応援条例の見直しについて。

平成29年4月に施行した、がんばる地元企業等応援条例については、条例施行後3年目の今年度、これまでの事業効果と制度維持に係る財政的見直し等を検証し、現制度は今年度で終了し、令和2年度から新たな制度を創設するとの方針を示されましたので、その内容を調査いたしました。

1、チャレンジスピリット応援条例の制定について。

当条例は、新たに起業・着業しようとする者など町内に企業施設を新設・増設及び備品購入をするとき、投資総額100万円以上となった場合に助成対象とする制度ですが、記載のとおり、5項目について検討を求めました。

検討事項のうち⑤を説明いたします。

施設投資助成金の投資下限100万円については、がんばる地元企業等応援条例の20万円から大幅に制限されることになることや、小規模投資から段階的な起業挑戦の可能性、業種の違いによる状況を勘案し、お金をなるべくかけないで承継や各業種への新規参入する起業等の意欲をそがないように、下限の見直しを検討されたい。

2、地元企業雇用等促進条例の制定について。

当条例は、現制度の特別雇用奨励助成金と外国人技能実習生受入助成金を統合した内容ですが、記載のとおり、2項目について検討を求めました。

検討のうち②を説明いたします。

外国人技能実習生受入助成金については、現制度の助成期間3年を短縮し、1年間の助成期間とするとのことであるが、現行制度導入の主旨を尊重し、地元就労者の高齢化、さらに厳しさを増す水産加工業等

の現状から、助成期間の現状維持を再検討すべきと思慮します。

委員会意見は次のとおりですが、当日提出されました報告事項について意見を付し、町長に提出しましたので、その概要を口頭で報告いたします。

報告事項名、福島町産業振興資金預託融資について。

意見の内容として、町の預託金の増額は理解するが、水産加工業の根幹を揺るがす厳しい状況を鑑み、関係条例に基づき、産業振興基金預託融資を取扱う金融機関と貸付金の利率引き下げを協議すること、また、福島水産加工協同組合の利子補給について検討されることを強く望みます。

以上、調査事件9の報告といたします。

○議長（溝部幸基）

次に、渡島西部広域事務組合議会の報告を行います。

2番佐藤孝男議員。

○2番（佐藤孝男）

11ページをお開きください。

令和元年12月6日に開催されました、令和元年度第3回渡島西部広域事務組合議会定例会の報告をいたします。

説明は、主な内容としますので、ご了承ください。

1、定例会の主な内容について。

第3回定例会では、会計年度任用職員に係る条例制定や職員の給与に関する条例の一部改正、また、一般会計補正予算（第3号）など6件の議案を審議いたしました。

2、行政報告の主な内容については、記載のとおりですが、火災の発生と水難事故について、2件の報告がありました。詳しい内容は、後ほどご覧ください。

3、審議した議案の内容について。

議案第1号と議案第2号は、法律の改正により、令和2年4月から導入される会計年度任用職員について、給与や手当、休暇等に関する条例制定と、これに関する5条例を一括改正しました。これは原案可決なされております。

議案第3号は、法律の改正により、成年被後見人等の取扱いに変更が生じたので、これに係る4条例を一括改正しました。原案可決しました。

議案第4号は、職員給与に関する条例の一部改正です。令和元年度の人事院勧告に伴う一部改正で、平均給与0.1パーセント、勤勉手当0.05月部分を引き上げました。原案可決なされております。

議案第5号は、火災予防条例の一部改正です。消防組織法に基づき、消防法令に重大な違反の防火対象物を組合ホームページで公表することができるよう条例の一部を改正しました。

最後に、議案第6号は、一般会計補正予算（第3号）です。職員の退職や給与改定等により、562万5千円を減額し、総額15億6,431万4千円としました。原案可決いたしました。

また、詳しい内容につきましては、議会事務局に議案・関係資料を保管しておりますので、ご参照願います。

以上で、報告を終わります。

○議長（溝部幸基）

次に、渡島廃棄物処理広域連合議会の報告を行います。

9番平野隆雄副議長。

○9番（平野隆雄）

諸般の報告の13ページをお開き願います。

2月14日に開催されました、令和2年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会の報告をいたします。

主な内容について、説明いたしますので、ご了承ください。

1、定例会の内容について。

第1回定例会では、令和2年度の一般会計予算と一般会計補正予算、また、渡島公平委員会規約の変更など3件の議案を審議いたしました。

行政報告の主な内容については、記載のとおり、昨年10月から本年1月までの焼却処理施設の運営について、3件の報告がありました。詳しい内容は、後ほどご覧いただきたいと思います。

次に、審議した議案の内容については、議案第1号は、令和2年度の当初予算であります。歳入歳出をそれぞれ42億189万3千円と決めました。令和元年度当初予算と対比いたしますと、12億8,339万9千円の増となりましたが、予算増の主な内容は、基幹的設備改良工事の最終年でありまして、それに伴う工事請負費の増であります。

議案第2号は、補正予算第2号であります。年度末に向けた予算精査により、焼却施設維持運営費の需用費など4,261万7千円を減額しております。

議案第3号は、渡島公平委員会規約の変更であります。渡島公平委員会を解散する山越郡衛生処理組合が3月31日付けで解散することになりましたので、規約の別表から当組合を削除いたしました。

詳しい内容については、議会事務局に議案・関係資料を保管しておりますので、ご参照願います。

以上で、令和2年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会の報告を終わります。

#### ○議長（溝部幸基）

以上で、諸般の報告を終わります。

---

### ◎行 政 報 告

---

#### ○議長（溝部幸基）

日程第3 申し出がありますので、行政報告を行います。

鳴海清春町長。

#### ○町長（鳴海清春）

令和元年度福島町議会定例会2月会議の開催にあたり、定例会12月会議以降の行政報告を申し上げます。

まず、1点目の除雪業者への緊急対応について。

今年度は、地球温暖化の影響と思われる暖冬により、過去に経験のないような記録的な降雪量の少なさとなっております。

福島消防署のデータでは、昨年12月の降雪量が35センチ、1月は16センチと平成10年以降、過去最低の積雪となっております。

これまで町の除雪体制は、地元の民間業者に委託し、きめ細やかな除雪体制を確保することで、住民の生活道路の安全確保に努めてきたところです。

しかし、これまでにないような降雪量の少なさにより、町が委託している除雪業者の出動回数が激減している状況にあります。

このような状況を受けて、2月5日に建設業協会長並びに建設協会長の連名による除雪業者への支援の要請を受けたところであります。

町では、最低保証の発動を視野に、将来的な除雪体制の安定確保と町内経済対策の一環として、本議会へ除雪業者支援事業を予算計上しておりますので、予めご理解ください。

なお、町の最低保証基準額については、近隣町の状況も確認しながら、令和2年度を目途に引き上げの検討を進めてまいります。

2点目の株式会社ヤマザキとの事業協議について。

2月4日に、静岡県吉田町の株式会社ヤマザキ本社を訪問し、今年度の早採り昆布事業に向けての連携協議を行ってきたところでございます。

なお、当日は福島吉岡漁業協同組合の組合長及び副組合長も帯同し、山崎会長及び山崎社長並びに杉本専務から昨年度の状況報告を受け、今年の事業について、それぞれの役割分担を確認し、生産目標額である500トンの生産の実現に向けての取り組みを加速することで確認できました。

また、山崎会長から「ねばねば昆布」などの新たな商品開発の情報もあり、令和2年度に事業を軌道に乗せたい旨の心強い発言をいただきましたので、町としてもしっかりと事業化に向けて支援をしてまいります。

3点目の消費税改定に関連した使用料等について。

昨年10月の消費税改定に関連し、本年4月1日からの使用料等の改定に向けた協議を行ってきたところでありますが、各公共施設等の利用状況や利用者の利便性及び費用対効果等を考慮し、改訂しないこと

といたしました。

続きまして、各課所管事項について、ご報告いたします。

1点であります。産業課の所管事項について。

12月11日に、吉野沖を漂流している北朝鮮の船と思われる木造船が発見され、ただちに函館海上保安部にその旨を通報するとともに、福島吉岡漁業協同組合の協力のもと、福島漁港へ曳航し一時保管したところであります。

その後、海上保安部及び海上自衛隊も現地を確認し、北朝鮮船籍の可能性があるとこのことで、渡島総合振興局とも協議の上、北海道海岸漂着物等地域対策推進事業補助金の対象船として処分しております。

また、処分に係る経費141万4千円につきましては、1月17日付で予備費を充当しております。

なお、財源に関しては、経費の9割に補助金が充当され、残り1割は特別交付税措置されることとなっております。1月29日付で、交付決定を受けたところであります。

町の主な主催事業及び行事等については、別途記載してございますので、参照願いたいと思います。

以上で、行政報告を終わります。

#### ○議長（溝部幸基）

次に、教育行政報告を行います。

小野寺則之教育長。

#### ○教育長（小野寺則之）

令和元年度福島町議会定例会2月会議の開催にあたり、定例会12月会議以降の行政報告を申し上げます。

1、幼児教育、学校教育について。

(1) 学校給食について。

12月26日、札幌市において地元食材を使用した献立の味やアイデアを競う「北海道学校給食コンクール」が開催され、福島町学校給食センターの「ちゃんこうどん」が優秀賞を受賞いたしました。今年度は、食べ物をなるべく廃棄しない「食品ロスの削減」がテーマとなっており、出汁をとった昆布をかき揚げにする工夫などが評価されたものです。

今後も子供たちに安全で栄養バランスのとれた美味しい給食の提供に努めてまいります。

(2) 高等学校について。

令和2年度公立高校入学の当初出願状況が1月28日に発表され、福島商業高等学校は「9人」となっております。北海道教育委員会の「これからの高校づくりの指針」では、地域連携特例校で2年連続10人未満となった場合は、再編整備の対象とされることとなります。

高校存続の対策に関しましては、昨年12月16日、これまでの存続検討委員会を再編し、「高校の在り方に関する協議会」を設置したところです。今後は、関係者のご意見いただきながら、具体的な対応について協議を進めてまいります。

(3) 特別支援教育について。

2月6日、函館市のかとうメンタルクリニック非常勤医師、加藤実花氏を講師に、「発達障がいと不登校」というテーマで研修会を開催いたしました。当日は、町内の学校、保育所の職員及び保護者の方、約50名に参加していただきました。

この研修会では、講師が実際に相談を受けている患者さんやその保護者の生の声も紹介しながら講演していただき、学校や家庭での支援についての正しい知識を学び、大変有意義な研修会でありました。

2、地域間交流について。

(1) 友好市町との交流。

三市町の間で行われている児童生徒交流の一環として、1月7日から10日まで当町の相撲少年団4名と引率者2名が、長野県木曾町を訪問し、木曾少年相撲クラブと相撲合宿を行いました。木曾町は、全国大会でも活躍する強豪で、令和4年度に当町で予定している全国中学校相撲大会への強化合宿として、効果があったものと感じております。

1月10日に長崎県松浦市の中学生2名、引率者1名が来町し、当町の中学生4名と交流しました。千軒そば打ち体験をはじめ、アワビ養殖施設の見学などのほか、岩部地区交流センターで行った鹿の角を活用したアクセサリ作り体験はととても好評であり、4日間の交流でお互いの絆を育んでいました。

(2) 東京都墨田区への児童派遣。

九重部屋のある墨田区への児童派遣事業として、1月13日から15日まで、小学生15名と引率者5名が東京都を訪れ、九重部屋の訪問、両国国技館前での福島町観光パンフレット等の配付、大相撲観戦などの文化に触れる貴重な体験をしたところです。

この間、私も同行した中で、墨田区役所の区長及び教育長を表敬訪問し、今後の相互交流について相談したところではありますが、墨田区の特定の学校・児童との交流事業は難しいとの見解でありました。

また、令和3年3月に九重部屋が葛飾区に移転するという情報を得て、葛飾区の教育長、政策経営部長等と懇談しましたが、葛飾区としましても九重部屋の移転に大きな期待を寄せており、この1年間で相互交流の可能性について模索していく方向で協議したところでもあります。今後は、企画課とも連携を図りながら交流事業について検討をしていきたいと考えております。

以上で、教育行政の報告を終わります。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

(休憩 10時36分)

(再開 10時37分)

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

小野寺則之教育長。

○教育長（小野寺則之）

大変失礼いたしました。5ページの(3)特別支援教育についてのところではありますが、かとうメンタルクリニック非常勤医師「高橋実花氏」でございます。私、先ほど「加藤実花氏」と間違えて発言してしまいましたので、訂正させていただきます。

○議長（溝部幸基）

そのように訂正をいたします。

以上で、行政報告を終わります。

---

## ◎議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）

---

○議長（溝部幸基）

日程第4 議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

小鹿一彦総務課長。

○総務課長（小鹿一彦）

それでは、議案の1ページをお開き願います。

議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）。

令和元年度福島町の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第1条で、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分毎の金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年2月21日提出、福島町長。

今回提案している補正予算につきましては、町長の挨拶にもありましたように、暖冬による降雪量の少なさに伴う除排雪委託料の減額と、道路維持補修や町内会要望箇所の修繕及び令和2年度予算で予定していた修繕などを前倒しして今年度実施することとしたものであります。

なお、補正額につきましては、歳出予算増額分を歳出の除排雪委託料で減額しておりますので、補正額はゼロとなっている関係で歳入予算に変更はございませんので、予めご了承願います。

それでは、補正内容について、ご説明いたしますので、No.2説明資料の1ページをご覧ください。

一般会計補正予算（第5号）の事務事業別説明資料でございます。

まず、一番上の2款総務費、1項5目財産管理費の町有財産管理費で280万円の追加でございます。内容といたしましては、福島漁港にある倉庫外壁補修と福島保育所前の町有地の砂利敷きとなっております。

次に、6目企画費の福島町総合戦略策定事業費で2万4千円の追加は、総合戦略策定委員会の開催数増に伴う補償費と費用弁償の増額となっております。

次に、12目テレビ中継局管理費、事務事業予算名も同様に50万円の追加は、宮歌地区から登っていく白符中継局までの道路の補修費となっております。

次のページをお開きください。

3款民生費、1項8目吉岡総合センター管理運営費、事務事業予算名も同様に15万円の追加は、吉岡総合センター裏の砂利敷きに伴う修繕費の追加となっております。

2項3目保育所費、事務事業予算名も同様に40万7千円の追加は、福島保育所の正面玄関横のウッドデッキ支柱補修に係る修繕費の追加でございます。

次に、4款衛生費、1項4目火葬場費、事務事業予算名も同様に95万7千円の追加は、火葬場横の法面補修に係る修繕費の増となっております。

次に、6款農林水産業費、1項3目農業振興費の農業施設維持管理費で181万3千円の追加は、農業用水路等の修繕で、桧倉地区農業用水路修繕と三岳地区水路土砂除去及び桧倉頭首工樋管土砂除去の3箇所となっております。

次に、2項5目治山費の自然災害防止事業費で36万円の追加は、宮歌地区墓地付近の素掘側溝の修繕費の追加となっております。

次に、8款2項2目道路維持費、事務事業予算名も同様に1,613万2千円の減額は、まず需用費の修繕費として、道路の補修など館崎1号線外6箇所271万1千円の追加、委託料の除排雪業務委託料を2,021万6千円減額し、使用料及び賃借料の車両借上料で側溝清掃に係る高压洗浄車及び汚泥処理車の車両借上料137万3千円の追加となっております。

次のページをお開きください。

3項河川費、1目河川総務費、事務事業予算名も同様に191万3千円の追加は、需用費の修繕として、美山川排水整備外3河川の補修となっております。

次に、5項住宅費、1目住宅管理費の町営住宅整備事業費で520万1千円の追加は、需用費の町営住宅小破修繕で三岳団地1号棟・2号棟・8号棟の内装類と集中換気システム等の修繕費の追加となっております。

10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の各学校校舎営繕事業費で154万4千円の追加は、福島小学校4カ所、吉岡小学校3カ所の普通教室手洗い場への電気温水器設置に係る追加補正となっております。

次に、3項中学校費、1目学校管理費の各学校校舎営繕事業費で26万円の追加は、福島中学校生徒用トイレにウォシュレット5カ所を設置することによる修繕費の追加となっております。

次に、5項保健体育費、2目総合体育館運営費、事務事業予算名も同様に20万3千円の追加は、総合体育館浄化槽汚水流入管の修繕となっております。

以上で、議案第48号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第5号）の提案内容について、説明を終わります。

ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（溝部幸基）

提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

2番佐藤孝男議員。

○2番（佐藤孝男）

今年度の除雪費の金額はどのぐらいかかっているのか教えてください。

○議長（溝部幸基）

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

まだ2月の部分については25日が締めなので集約しておりませんが、2月までの予想ですと、約720万円ほどとなっております。

○議長（溝部幸基）

そのほか質疑ございませんか。

6番杉村志朗議員。

○6番（杉村志朗）

吉岡総合センターのところで砂利敷きとありますけれども、裏の方の小さな粒子の碎石のことでしょうか。

それと、火葬場の95万円の法面の修繕費。これは95万円程度ですから、小さな事だろうと思います。どういう手法か教えてください。

○議長（溝部幸基）

鎌田一志町民課長。

○町民課長（鎌田一志）

まず初めに、吉岡総合センターの裏の駐車場に使用している所の砂利敷きについては、冬期間で駐車場に使用している所が凸凹になったりするものですから、それをこの予算の中で整地するという事での予算を計上しております。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時47分）

（再開 10時47分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

火葬場の法面の部分につきましては、火葬場の横を河川が走っていき、その河川の水で法面の一部を崩壊しております、その復旧ということで考えております。

○議長（溝部幸基）

そのほか質疑ございませんか。

7番藤山大議員。

○7番（藤山大）

5ページの学校校舎のトイレのウォシュレットの部分なんですが、生徒のトイレ自体全部で6カ所あるはずなんですが、5カ所で間違いないですか。

○議長（溝部幸基）

石岡大志教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石岡大志）

福島中学校のトイレのウォシュレットにつきましては、平成29年に一度整備しております。このときは1階から3階までの各フロア1カ所と、それから教員用の男女1カ所ずつ、計5カ所を整備しております。その残りの分を今回の補正で整備しようとするものです。

○議長（溝部幸基）

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

先ほどの佐藤議員の質問についてなんですけれども、集計を間違っておりました。2月21日現在の見込みで1,709万3千円という見込みでございます。申し訳ございません。

○議長（溝部幸基）

質疑ございませんか。

2番佐藤孝男議員。

○2番（佐藤孝男）

これは回数が何回なのか聞くのを忘れましたので、おそらく地域によって出動回数が違うと思いますが、千軒地区、それから大まかに町内を区分して説明できれば、お願いします。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時50分）

（再開 10時50分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

まず、先ほどの2月末までの除雪費の部分について、それぞれ月毎の説明を先にさせていただきます。12月としましては45万8千円、1月で325万2千円、それで2月としましては、これは21日までの見込みとして1,338万3千円となっております。

それで、出動回数につきましては、場所を出てる、出てないはあるんですけども、1カ所でも出ているという部分では、12月で10回、1月で6回、2月では8回を見込んでございます。それで、1カ所でも出ているという部分については、千軒地区だけしか出ていないという部分もございますので、そこは回数に含めてございますので、ご了承願います。

○議長（溝部幸基）

そのほか質疑ございますか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

質疑なしと認め、質疑を終わります。

説明員との意見交換を行います。

6番杉村志朗議員。

○6番（杉村志朗）

先ほどの総合センターの裏の砂利敷き。碎石の細かい物が敷かかっていると思います。だから、その辺のことで、砂利敷きと言ったって、玉砂利もあるだろうし、私の記憶として、確か細かい碎石でないのかなど。それが偶然、冬の除雪などで路面が凸凹だから補修するというところだろうけど、15万円ですから、これは大体トラック何台分ぐらいの積算ですか。

それと、火葬場横の手法についても、95万円ぐらいですから、そこにコンクリートでも入れるのか。それとも、ただ杭を打って土留めにするのか。そういう手法を知りたかったです。

○議長（溝部幸基）

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

火葬場横の法面の補修について、お答えいたします。川で法面が削られて崩れかけているという部分で、そこについては蛇籠等で押さえて、その部分の法面を大きい石を鉄網で押さえる蛇籠というもので下の方を押さえて、上の方は土を復旧するという部分でございます。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時54分）

（再開 10時54分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。



工藤泰副町長。

○副町長（工藤泰）

私も吉岡センターの裏に墓がありますので行きますけど、碎石の小さい物を敷いていて、若干穴が開いているんですね。今回、穴が開いている所を部分的に平にするということで、ちょっと私、量は分かりませんが、そこを部分的に穴埋めしていくという内容でございますので、お願いします。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時55分）

（再開 10時56分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

意見交換を続けます。

2番佐藤孝男議員。

○2番（佐藤孝男）

除雪に関して町長の行政報告の中にもありますが、最低保証の件について、今後、近隣町の状況も調べながら見直すということも言っておりますが、この最低基準については、福島町の最低基準はおそらく決まっていると思っています。それに、おそらく機種によって、大きい機種と中ぐらいの機種、それから一番小さい機種とか、そういう段階的に分かれていると思うんですけど、今の単価から見れば、これで満足いくのかどうか。その点についてお知らせ願いたい。おそらく見直しをかけるとなると、その当時、作った基準からいくと、今は消費税の値上がりとか、諸々の人件費の値上がりとか、そういうものもあると思うんですけど、これは当然やるべきだと思いますが、現時点での機種の段階というか、大小中に分かっているのか。それと、その値段。一番高いものと、中ぐらいの値段を分かっていたら教えてください。

○議長（溝部幸基）

紙谷一建設課長。

○建設課長（紙谷一）

今の質問で、2種類ございまして、1立米以下と1立米以上ということで分かれてございます。大きい方については、今年度については81万円、小さい1立米未満については43万円となっております。それで、単価については、構成としまして、待機日数及び時間と、あとそれぞれの人員の1時間当たりの賃金という構成となっておりますので、それぞれの年度の単価できちんと毎年構成しておりますので、今、言った81万円と43万円は令和元年度の単価でございまして、過去から徐々に単価に合わせて上昇はしてございます。

○議長（溝部幸基）

そのほか。

5番川村明雄議員。

○5番（川村明雄）

7番議員から出ていた質問の関連ですけれども、今回、5カ所を整備するということで、合計これまで計10カ所という格好だと思うんですね。今回は5基ですから、単純に割ると1基当たり工賃を加えて5万2千円という額だと思うんですけども、この件について、私、何年も前から質問したりしてきて、そして、そのときは一番最初に整備したのが役場なんですよ。役場の方が綺麗にウォシュレットになった。私は小中学校の方が先でないでしょうかということも申し上げたことがあるんですけども、この件について、これからさらに計画的な整備をするのかどうかということと、もう1つは、吉岡小学校の方が記憶によればウォシュレットがまだ付いていないような気がするんですけども、その辺りの計画をどのように進めていくのか。その辺を聞かせてください。

○議長（溝部幸基）

石岡大志教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石岡大志）

この度の学校のトイレのウォシュレットに関しましては、福島中学校の部分でございますが、平成29年の福島中学校の一部と併せて福島小学校の方も整備しております。1階、2階の男女、それから体育館の男女と多目的、それから教員用のトイレの男女と、計9カ所整備しております。一方、吉岡小学校につきましても、平成28年以前、かなり古い時期になりますが、体育館の多目的トイレ1カ所をやっておりますが、残りはまだウォシュレットは未整備になっております。それで、吉岡小学校の児童数の推移を見ながら、多分、その段階ではまだ時期尚早ということになっていると思いますが、教育委員会の方でシミュレーションを立てますと、向こう数年間の中で今の児童数が倍になるような見通しもございますので、学校現場の方と要望等聞きながら検討していきたいという風に考えております。

○議長（溝部幸基）

5番川村明雄議員。

○5番（川村明雄）

ただいま小中学校の整備については聞いたとおりですが、残るのは吉岡小学校ということになると思うんですね。例えば児童が少ないからとか、そういう理由で出来ないということにはならないのではないかなという風に思うんですね。ウォシュレットの場合、上の部分を取り外す、付け替える、付け加えるということによって、もし使わなくなったら他に転用できるという面もないわけでもありませんから、そういう心配までいなくても、当然、何人であっても、僅かな基数でも交互に使えるわけですから、是非、計画を進めてほしいと思います。

○議長（溝部幸基）

そのほか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

意見交換を終わります。

討議を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討議なしと認め、討議を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。

議案第48号を決することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（溝部幸基）

起立全員であり、議案第48号は可決いたしました。

---

## ◎休 会 の 議 決

---

○議長（溝部幸基）

お諮りいたします。

本定例会2月会議に付議された案件の審議をすべて終了いたしましたので、会議条例第10条の規定により、令和元年度定例会を休会いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

ご異議なしと認めます。

令和元年度定例会は、本日で休会することに決定いたしました。

---

◎休 会 宣 告

---

○議長（溝部幸基）

これで本日の会議を閉じます。  
どうもご苦労様でした。

---

（休会 11時03分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

北海道松前郡福島町議会

議 長 溝 部 幸 基

署 名 議 員 平 野 隆 雄

署 名 議 員 花 田 勇